

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



▲受賞作品はこの2枚を含む計5枚。

子どもや孫の運動会を撮影したり、風景写真を撮りに出掛けたりが趣味だったという田中さん。知人の紹介で、11年前に現在所属している写真クラブに入会してからは、仲間と切磋琢磨

しながらカメラの技術を上らせてきました。今回受賞した作品は、新聞でたまたま見かけた集落に1年間通い、そこで出会った人々の生活を撮影した5枚組の写真。「はじめは他人にカメラを向けることに抵抗があり、苦労したけれど、その分、人の温かさに触れることができました」と振り返ります。また、撮影した集落を「第2の故郷」と語る田中さん。写真を撮るだけではなく、「人とのコミュニケーションを大事にしていきたい」という写真に対する思いが込められています。

日本写真家協会主催の第43回JPS展で、文部科学大臣賞を受賞した、田中さん。本県からの最高賞の受賞は初という快挙に、「夢のようで、今でも実感がありません。受賞できたのは、先生とクラブの仲間のおかげ」と笑顔で振り返ります。



下田原町 田中 容之さん

ひたむきに写真と向き合い 文部科学大臣賞受賞

今回のゲスト



ピーター フォレスト
スミスさん (アメリカ)

アメリカニューヨーク州出身。6年前から市内に在住し、大学の英語講師や翻訳の仕事に携わる。趣味は、宮ポタ(※)、書道など。

※自転車で散歩を楽しむサークル



12 大谷寺の御止山は国の名勝に、日本最古の石仏である本尊の千手観音をはじめ合計10体の石仏は、国の特別史跡と重要文化財に指定。

3 資料館内では、映画の撮影やコンサート、結婚式も行われる。

「大谷エリア」について、6月10日(日)午前10時30分～10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(48ページ参照)。併せてご視聴ください。



ページ番号
1014236

外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました

今回のテーマは「大谷エリア」

今回私が訪れたのは、宇都宮市の北西、大谷エリアの大谷寺と大谷資料館です。

まず、大きな観音様、平和観音がある大谷公園を抜けると見えてくるのが、大谷寺です。岩壁と一体化した本堂は岩が迫ってくるようでとてもインパクトがあります。本尊の千手観音(大谷観音)を含む10体の石仏は、大谷石の温かい雰囲気が生かされていて、1,000年以上前に造られた石仏が大切に残っているとは感激です。

続いて、大谷資料館。大谷石の地下採掘場跡の地下空間は、中に入るとひんやりと冷たく、真夏でも12～13度にしかないそうです。幻想的で、人の手で掘られたこんなに大きな地下空間はアメリカでも見たことがありません。石工さんの技術や勘はずいすごいですね。

来るたびに新しい発見があって、季節ごとの良さがある大谷エリア。他では体験できないものを求めて、また訪れたいです。

◎北宇都宮駐屯地(宇都宮飛行場) ■夜間飛行訓練 ▽期日 6月4～7・11～14・18～21・25～28日。時刻は午後9時ごろまでを予定しています。なお、天候などにより実施日・時刻を変更することがあります▽内容 ヘリコプターの飛行訓練。■その他 飛行場周辺(宇都宮市内)でのドローン、ラジコン飛行機などを飛行させることは、航空法により禁止されています。📍陸上自衛隊北宇都宮駐屯地☎(658)2151

本文中に記載がないものは、原則として、対象外となります。費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HP ホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参 二つのみや表参道スウェーア、三 地域コミュニティセンター、活 市民活動センター、傾 申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。